

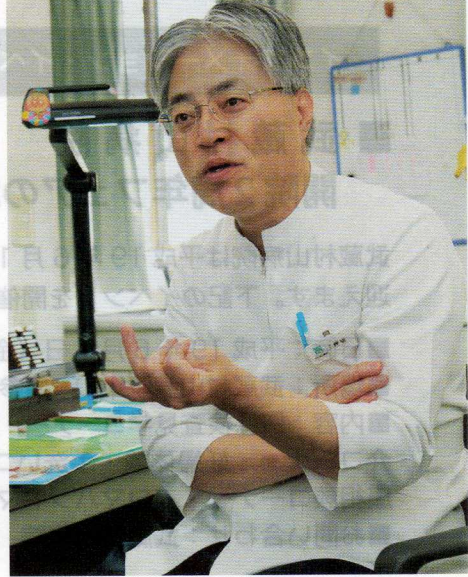
30

わが街のお医者さん

医療連携のわ



診療所外観。入口のライトにもかわいいフクロウがデザインされている



医療法人社団晴山会

おしきり眼科

(押切勝先生)

「おしきり眼科」は、村山医療センターに程近い学園通り商店街にある。武蔵村山病院へも自転車の距離だ。インタビューをお願いすると、小・中学校の検診やら医師会の仕事やらの合間をぬって、ゴールデンウィーク明けにどうぞと相成った。このシリーズは初対面の先生が多いので、事前に取材用紙をお送りして準備を進めている。通常は、質問事項に簡単なコメントが記入され、送り返されてくる。ところが、今回は違った。質問への回答として、再構成された手作りのインタビュー資料が送られてきたのである。回答は一目瞭然、要所を押さえたもので、それだけで誌面ができそうである。押切先生の緻密なお人柄が偲ばれる。以下、回答をなぞるようにして記して行くことにしたい。

押切先生プロフィール

押切先生は、昭和五十四年日本大学医学部を卒業後、駿河台日大病院などで臨床経験を積まれ、平成五年九月、現在地で開業された。特徴は、予約診療、画像ファイリングシステム、レーザー治療(主に網膜)、コンタクトレンズ処方箋発行、往診にも対応、ただし現在、手術は行っていないとのこと。日常、気をつけていることは「納得できる医療出来るだけ分かりやすい説明を心がける」と、「効率的な病診連携(病状に応じた専門医の紹介)」で、武蔵村山病院

とも白内障手術等、頻繁に交流しているとのこと。診療を通じての最近のエピソードは、先生自身、花粉症のため毎年一月末頃からマスクをして診察しておられる。すると「今年も花粉症が始まったんですね」と、いつもそんなに話をするのではない患者さんに言われ、一本取られた気がしたという。「患者さんは医者や職員のことをよく見ていると思いたね。ですから対応には十分気を付けるべきだと再認識しました」と、苦笑しながら話された。

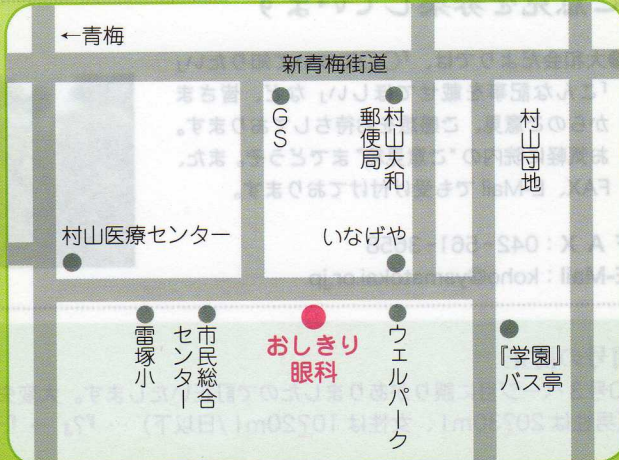
フクロウグッズのコレクション

そんな押切先生の趣味は、フクロウグッズコレクション、ホームページいじり、ジャズ鑑賞、愛犬との旅行だという。すべてに触れることはできないので、まずフクロウについて・待合室には、コレクションのスタートになった「木彫りの壁掛け」に始まり、最近の「七宝焼きの額」が飾られている。それに気づくと口ゴマークにも照明器具にもフクロウが、ということになる。その全貌は、開院十周年を契機に立ち上げたというホームページを是非ご覧頂きたい。先生はホームページいじりと第二の趣味のように言うのであるが、どうして眼科に関する疑問や知りたことなど、実に先生の面目躍如たるものがあるホームページなのだ、と重ねて記しておきたい。



コレクション第1号の木彫りフクロウは、職員の方の旅行のお土産(写真右)

パソコン前に鎮座する、メガネをかけたフクロウ(写真左)



診療所案内

- 住所：東京都武蔵村山市学園3-50-1
- TEL：042-562-6688
- FAX：042-562-6785
- 休診日：火曜日午後、土曜日午後、日曜日
- ホームページ：http://www.oshi-eye.com/